

女性部NEWS



2019年度 NO. 1

2019年4月13日(土)～14日(日)晴天に恵まれ、和倉温泉「のと楽」にて日本医労連東海北陸ブロック女性学習交流集会在開催されました。民医労女性部から7名が参加、全体で37名の参加がありました。



講演1.「中国人強制連行・強制労働」では角三外広さんを講師にお迎えし、石川テレビのドキュメント番組で学びました。講演のあとは氏田 都さんによる「簡単ストレッチで身体シャキッ！」道具を使わないストレッチ体操は今日から実践可能だと思いました。夕食交流会では、自己紹介と近況報告などで色々な職場の環境も大変なことが

分かりました。クイズに答えて景品をゲット、「職場環境冬景色」の替歌で大いに盛り上がりました。翌日は、本部女性部担当者から「日本医労連女性部活動について」講演があり、本部共済担当者から「共済の紹介」がありました。「組合」の存在は大きく、共に声を上げ団結してがんばりましょうと。

集会のあと、「海鮮丼ランチ」と「花嫁のれん館見学」のオプション企画もあり、あっという間の二日間でした。子育て中の方の参加もあります。ママさん組合員も組合活動に参加しブロックの皆さんと交流してみませんか。

2019年5月11日(土)～12日(日)この日も晴天に恵まれ、福井県にて全労連東海北陸ブロック女性交流集会在開催されました。全労連は医療職に限らず、様々な職種の方々の労働組合で結成されていますので、参加者の職業も教員、保母、生協と多岐に渡っていました。一日目は動く集会で武生市にある「ちひろの生まれた家」と敦賀市にある「人道の家ムゼウム」を見学しました。「ちひろの生まれた家」は昔ながらの土壁も残しつつ、奥には新しく休憩スペースも設けられており、年譜も掲示されていました。「人道の港 敦賀ムゼウム」には外交官杉浦ちうねの判断で多くのユダヤ人に



ビザが発行され、敦賀の港に到着したこと、日本経由で諸外国に渡航し命を救われたことを今も感謝している人々がいることがドキュメンタリー映像で知ることができました。ご本人の音声も残されていて改めて偉大な方だと感銘を受けました。二日目は「原子力問題について」山本さんに講演をいただき、語り口から熱い思いが伝わってきました。全労連女性部の方からは、現在の情勢についての報告があり、全ての県に女性部を作っていきたいとエールが送られました。今回開催県の福井にはまだ女性部が立ち



上がっていないということで、これをきっかけに推進していきたいと発言がありました。来年は静岡で開催される予定です。

